

林忠彦(1918~1990)は、「昭和」という時代を代表する写真家の一人で、日本の写真界をエネルギーに牽引、常に第一線で活躍し生涯現役であり続けました。

戦前から報道・宣伝写真のカメラマンとして活躍し、終戦後は、混乱期の街頭や、そこにたくましく生きる人々を捉えた写真、小説家などのポートレイトを撮影し、人気写真家として知られるようになりました。特に戦後の文壇を賑わせた「無頼派(新戯作派)」の作家たちの写真は、林忠彦の代表作として知られるのみならず、多くの人が思い浮かべる個々の小説家のイメージにもなりました。銀座のバー「ルパン」の狭いカウンター席で時代を謳歌するかのような風貌の織田作之助や太宰治、雑然と散らかる書齋でレンズに対峙する坂口安吾の姿など、背景も含めて多くの人々の記憶に残る作品群となっています。他に、家元・画家・財界人などのポートレイトや茶室、街頭風俗や各地の風景などを撮影したシリーズも有名です。林忠彦の作品は、ポートレイトであれ風景であれ、彼がファインダーを通して切り取った画面には、必ずストーリーが内在するのが特徴です。

今回は、林忠彦の代表作ともいえる文士のポートレイト作品から、文士とともに「たばこ」が写し込まれた作品を80点ほど選び構成しました。文士が手にし、あるいは傍らにあるたばこの姿は、さらにその文士たちの個性を豊かに演出しているようです。文士の肖像としての林忠彦の作品とともに、その時代の香りを紫煙とともに感じていただければ幸いです。



1. 織田作之助
2. 太宰治
3. 川端康成
4. 三島由紀夫
5. 司馬遼太郎
6. 坂口安吾
7. 林忠彦(撮影:林義勝)

【講演会】

- 1月22日(日) **「林忠彦の仕事」**
岡井 耀毅(ジャーナリスト)
- 1月29日(日) **「父の思い出」**
林 義勝(写真家)
- 2月 4日(土) **「渋谷戦後物語」**
岩崎 均史(たばこと塩の博物館主席学芸員)
- 2月11日(土・祝) **「文士たちの周辺」**
阿刀田 高(作家)
- 2月26日(日) **「林義勝ポートレイト教室」**
林 義勝(写真家)
- 3月11日(日) **「戦中・戦後のたばこ事情」**
鎮目 良文(たばこと塩の博物館学芸員)

展示関連講演会は、いずれも14時から1階視聴覚ホールにて開催
参加費無料(ただし、入館料は必要です)
定員は80名(当日先着順で、開館時より整理券を1名様につき1枚配布します)

関連展示のご案内

林 義勝作品展 「ちょっと失礼ー芸能人百人の顔より'69-'75」
期 間: 2012年1月5日(木)~2月5日(日)
会 場: JCIフォトサロン(03-3261-0300) 地下鉄 半蔵門線 半蔵門駅下車
開館時間: 10時~17時
休 館 日: 毎週月曜日

夕カオカ邦彦写真展 iconsー時代の肖像ー
期 間: 2012年1月14日(土)~3月25日(日)
会 場: 町田市民文学館ことばらんど(042-739-3420) JR横浜線 町田駅下車
開館時間: 10時~17時 ※金曜日は20時まで開館
休 館 日: 毎週月曜日、第2木曜日

いずれも詳細は各会場にご確認下さい

